



平成 24 年 2 月 13 日

各 位

会 社 名 協同飼料株式会社  
代表者名 代表取締役社長 林 泰 正  
(コード番号 2052 東証第一部)  
問合せ先 執行役員経理部長 大 友 彰  
( TEL. 045-461-5711 )

(訂正) 「平成 20 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績概況」  
の一部訂正について

当社は、本日付「過年度決算短信等の一部訂正に関するお知らせ」で開示いたしましたとおり、  
過年度の決算を訂正することといたしました。

このため、平成 19 年 7 月 30 日に発表いたしました「平成 20 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績概  
況」の記載内容を訂正いたしましたのでお知らせいたします。

訂正箇所が多数であるため、訂正前及び訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線\_\_\_\_  
を付して表示しております。

[訂正前]



## 平成 20 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績概況

平成 19 年 7 月 30 日

上場会社名 協同飼料株式会社

上場取引所 東京証券取引所市場第一部

コード番号 2052

URL <http://www.kyodo-shiryo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村井 弘一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 大友 彰 TEL (045) 461-5711

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20 年 3 月期第 1 四半期	31,090	19.5	796	30.7	817	39.7	276	14.2
19 年 3 月期第 1 四半期	26,023	△ 5.1	609	△ 6.0	585	8.7	242	—
19 年 3 月期	111,058		2,484		2,432		816	

	1 株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
20 年 3 月期第 1 四半期	2 77	—
19 年 3 月期第 1 四半期	2 43	—
19 年 3 月期	8 18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20 年 3 月期第 1 四半期	50,599	13,653	27.0	136 76
19 年 3 月期第 1 四半期	46,265	13,639	29.5	136 69
19 年 3 月期	48,942	13,620	27.8	136 43

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20 年 3 月期第 1 四半期	1,478	△ 68	△ 1,039	1,035
19 年 3 月期第 1 四半期	492	151	△ 354	919
19 年 3 月期	2,548	△ 177	△ 2,336	665

2. 平成 20 年 3 月期の連結業績予想（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日） 【参考】

平成 19 年 5 月 14 日公表の業績予想の修正はありません。

3. その他

- |   |   |
|---|---|
| (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） | 無 |
| (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無              | 有 |
| (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無            | 有 |

（注）詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 1 四半期（平成 19 年 4～6 月）におけるわが国経済は、設備投資の増加や個人消費と雇用情勢の改善により、景気は引き続き緩やかな回復基調を継続しました。

飼料畜産業界におきましては、配合飼料の主要原料であるとうもろこしが、エタノール向け需要の急増や中国の輸出抑制に加え豪州での早ばつによる小麦の不作などに伴い高値で推移いたしました。

畜産物につきましては、鶏卵は国内生産量の増加から相場は軟調に推移しました。豚肉・牛肉は米国産牛肉の輸入が昨年 7 月に再開されたものの、国内生産の伸び悩みから相場は安定して推移いたしました。

こうした環境にあつて当社グループは、畜産生産者の皆様の生産性に貢献する価値ある製品及び関連技術の開発に注力し、採卵鶏用飼料・肉牛用飼料等を中心に販売数量の拡大を図りました。

その結果、売上高は 310 億 9 千万円（前年同期比 19.5%増）、営業利益は 7 億 9 千 6 百万円（前年同期比 30.7%増）、経常利益は 8 億 1 千 7 百万円（前年同期比 39.7%増）と、それぞれ大幅な増収・増益を計上することが出来ました。また、特別損益として役員退職慰労引当金繰入額 2 億 4 千 8 百万円を計上した結果、当四半期純利益は 2 億 7 千 6 百万円（前年同期比 14.2%増）となりました。

事業別の状況は、以下の通りです。

#### 飼料事業

飼料事業では、販売数量は採卵鶏用・肉牛用等を中心に増加し、本年 4 月に配合飼料製品価格の値上げを行ったことから売上高も増加いたしました。一方で、配合飼料原材料価格の上昇及び配合飼料価格安定基金負担金の増加があつたものの、営業利益は 9 億 5 千万円（前年同期比 18.2%増）と増益を果たすことができました。

#### 畜産物事業

畜産物事業では、売上高は鶏卵を中心に畜産物相場が軟調に推移したことから前年同期並みの数字にとどまりましたが、営業利益は 1 億 1 千 1 百万円（前年同期比 59.3%増）と増益になりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期の財政状況を前期末と比べますと、配合飼料製品価格の値上げにより売上債権が13億8千6百万円増加したこと等により、総資産は16億5千7百万円増加して505億9千9百万円となり、純資産は3千3百万円増加して136億5千3百万円となりました。

### (連結キャッシュ・フロー)

当第1四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当四半期純利益5億6千8百万円、仕入債務の増加16億6千9百万円等により、売上債権の増加等があったものの、14億7千8百万円の収入となりました。

投資活動におけるキャッシュ・フローは、設備投資に伴う固定資産の取得1億4千6百万円等により、6千8百万円の支出となりました。

財務活動におけるキャッシュ・フローは、長短借入金の純返済8億8百万円、配当金の支払い2億3千万円等により、10億3千9百万円の支出となりました。

これらの結果、現金及び現金同等物期末残高は、10億3千5百万円となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループは、畜産生産者の皆様の生産性に貢献するための新製品を積極的に開発し、これまで生産者と築き上げてきた信頼関係と長期的な取引関係を強化して、業容の拡大と収益力の向上を図っており、予想通りの業績を確保するべく努めております。

引き続き国際飼料穀物相場の高値推移と、世界的な海上運賃の上昇等から、本年7月に配合飼料製品価格の値上げを実施いたしました。今後の見通しにつきましては、世界的な穀物需給や外国為替相場の動向が不透明であることなど見極めがたい環境となっておりますので、中間期・通期とも業績予想の修正はございません。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループが判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。

## 4. その他

### (1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

- ・法人税等の計算基準…簡便法により計算しております。
- ・引当金の計上基準等に、一部簡便な方法を採用しております。

### (2) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

#### ・役員退職慰労引当金

「租税特別措置法上の準備金及び特別法上の引当金又は準備金並びに役員退職慰労引当金等に関する監査上の取扱い」(日本公認会計士協会 監査・保証実務委員会報告第42号)の改正に伴い、当第1四半期より、役員退職慰労金の支出に備えるため、内規による期末要支給額に基づき役員退職慰労引当金を計上しております。

これにより、当第1四半期の期首に計上すべき過年度分2億4千8百万円については特別損失に、また、当第1四半期の発生額9百万円は、販売費及び一般管理費に計上しております。

## 要約四半期連結貸借対照表

(金額単位：百万円未満切捨)

科 目	前連結 会計年度末 (19.3.31)	当第1四半期 連結会計期間末 (19.6.30)	増 減	前第1四半期 連結会計期間末 (18.6.30)
(資産の部)				
I 流動資産	25,158	27,144	1,986	20,574
現金及び預金	668	1,038	370	922
受取手形及び売掛金	19,262	20,648	1,386	15,363
たな卸資産	3,764	3,865	100	3,008
繰延税金資産	125	124	△ 0	104
短期貸付金	389	253	△ 135	319
その他	1,067	1,333	266	934
貸倒引当金	△ 117	△ 118	△ 0	△ 77
II 固定資産	<u>23,191</u>	<u>22,863</u>	△ 328	<u>25,098</u>
有形固定資産	8,441	8,409	△ 32	8,622
建物及び構築物	2,354	2,328	△ 26	2,257
機械装置及び運搬具	2,970	2,914	△ 55	3,158
土地	2,958	2,958	—	2,960
建設仮勘定	1	54	52	90
その他	156	153	△ 3	156
無形固定資産	381	376	△ 4	397
その他	381	376	△ 4	397
投資その他の資産	<u>14,368</u>	<u>14,077</u>	△ 291	<u>16,078</u>
投資有価証券	6,079	6,124	45	7,019
長期貸付金	5,066	5,097	30	5,252
長期未収入金	6,674	6,581	△ 93	6,729
破産債権、更生債権 その他これらに準ずる債権	721	657	△ 64	949
繰延税金資産	<u>2,424</u>	<u>2,384</u>	△ 39	<u>2,283</u>
その他	719	774	54	716
貸倒引当金	<u>△7,317</u>	<u>△7,542</u>	△ 224	<u>△6,873</u>
資産合計	<u>48,349</u>	<u>50,007</u>	1,657	<u>45,672</u>

(金額単位：百万円未満切捨)

科 目	前連結 会計年度末 (19.3.31)	当第1四半期 連結会計期間末 (19.6.30)	増 減	前第1四半期 連結会計期間末 (18.6.30)
(負債の部)				
I 流動負債	25,708	26,784	1,075	23,302
支払手形及び買掛金	12,886	14,556	1,669	8,245
短期借入金	8,900	7,803	△1,097	11,216
未払法人税等	314	293	△ 20	201
賞与引当金	368	546	177	564
未払費用	1,362	1,481	119	1,104
その他	1,876	2,103	226	1,969
II 固定負債	9,612	10,161	548	9,322
長期借入金	8,267	8,555	288	7,892
退職給付引当金	1,304	1,306	2	1,388
その他	41	299	257	41
負債合計	35,321	36,946	1,624	32,625
(純資産の部)				
I 株主資本	11,699	11,676	△ 23	11,126
資本金	5,199	5,199	—	5,199
資本剰余金	4,947	4,947	—	4,947
利益剰余金	1,971	1,948	△ 23	1,398
自己株式	△ 419	△ 419	△ 0	△ 418
II 評価・換算差額等	1,321	1,377	56	1,914
その他有価証券評価差額金	1,298	1,349	51	1,868
繰延ヘッジ損益	23	28	5	45
III 少数株主持分	6	7	0	6
純資産合計	13,028	13,061	33	13,047
負債及び純資産合計	48,349	50,007	1,657	45,672

(金額単位：百万円未満切捨)

	前連結会計年度末	当第1四半期	前第1四半期
(注) 1. 受取手形割引高	1,510	1,512	1,345
2. 有形固定資産減価償却累計額	21,394	21,602	21,134
3. 保証債務	2,409	2,326	2,899
4. 債務保証予約	259	251	285
5. 経営指導念書	179	173	190
6. 自己株式数	4,212,546株	4,213,878株	4,210,382株

## 要約四半期連結損益計算書

(金額単位：百万円未満切捨)

科 目	前第1四半期 連結会計期間 (18.4~18.6)	当第1四半期 連結会計期間 (19.4~19.6)	増 減	前連結会計年度 (18.4~19.3)
I 売上高	26,023	31,090	5,066	111,058
II 売上原価	23,188	27,600	4,412	99,176
売上総利益	2,835	3,489	654	11,881
III 販売費及び一般管理費	2,226	2,693	467	9,397
営業利益	609	796	186	2,484
IV 営業外収益	161	229	67	576
受取利息及び配当金	63	67	3	124
その他	97	161	63	452
V 営業外費用	185	207	22	628
支払利息	78	90	12	331
持分法による投資損失	29	67	38	15
その他	78	49	△ 29	281
経常利益	585	817	232	2,432
VI 特別利益	18	—	△ 18	52
固定資産処分益	18	—	△ 18	52
VII 特別損失	135	248	113	993
固定資産処分損	—	—	—	33
役員退職慰労引当繰入額	—	248	248	—
役員退職慰労金	135	—	△ 135	159
貸倒引当金繰入額	—	—	—	800
税金等調整前四半期(当期)純利益	468	568	99	1,491
税金費用	225	291	65	674
少数株主利益	0	0	0	1
四半期(当期)純利益	242	276	34	816

(注) 第1四半期における税金費用については簡便法により計算しているため、「法人税等調整額」は、「税金費用」に含めて表示しております。



## 要約四半期連結株主資本等変動計算書

前第1四半期連結会計期間(自平成18年4月1日至平成18年6月30日) (金額単位:百万円未満切捨)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計		
平成18年3月31日残高	5,199	4,947	<u>1,355</u>	△ 418	<u>11,084</u>	2,140	—	2,140	5	<u>13,230</u>
当四半期変動額										
剰余金の配当			△ 199		△ 199					△ 199
四半期純利益			242		242					242
自己株式の取得				△ 0	△ 0					△ 0
自己株式の処分		0		0	0					0
株主資本以外の項目の当四半期変動額						△ 272	45	△ 226	0	△ 225
当四半期変動額合計	—	0	42	△ 0	42	△ 272	45	△ 226	0	△ 183
平成18年6月30日残高	5,199	4,947	<u>1,398</u>	△ 418	<u>11,126</u>	1,868	45	1,914	6	<u>13,047</u>

当第1四半期連結会計期間(自平成19年4月1日至平成19年6月30日) (金額単位:百万円未満切捨)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計		
平成19年3月31日残高	5,199	4,947	<u>1,971</u>	△ 419	<u>11,699</u>	1,298	23	1,321	6	<u>13,028</u>
当四半期変動額										
剰余金の配当			△ 299		△ 299					△ 299
四半期純利益			276		276					276
自己株式の取得				△ 0	△ 0					△ 0
自己株式の処分										
株主資本以外の項目の当四半期変動額						51	5	56	0	56
当四半期変動額合計	—	—	△ 23	△ 0	△ 23	51	5	56	0	33
平成19年6月30日残高	5,199	4,947	<u>1,948</u>	△ 419	<u>11,676</u>	1,349	28	1,377	7	<u>13,061</u>

前連結会計期間 (自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 3 月 31 日)

(金額単位：百万円未満切捨)

	株主資本					評価・換算差額等			少数 株主 持分	純資産合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等 合計		
平成 18 年 3 月 31 日残高	5,199	4,947	<u>1,355</u>	△ 418	<u>11,084</u>	2,140	—	2,140	5	<u>13,230</u>
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△ 199		△ 199					△ 199
当期純利益			816		816					816
自己株式の取得				△ 0	△ 0					△ 0
自己株式の処分		0		0	0					0
株主資本以外の項目の 当期中の変動額(純額)						△ 842	23	△ 819	1	△ 818
連結会計年度中の変動額合計	—	0	616	△ 0	615	△ 842	23	△ 819	1	△ 202
平成 19 年 3 月 31 日残高	5,199	4,947	<u>1,971</u>	△ 419	<u>11,699</u>	1,298	23	1,321	6	<u>13,028</u>

## 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(金額単位：百万円未満切捨)

区 分	前第 1 四半期 連結会計期間 (18.4~18.6)	当第 1 四半期 連結会計期間 (19.4~19.6)	前連結会計年度 (18.4~19.3)
<b>I. 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
税金等調整前四半期(当期)純利益	468	568	1,491
減価償却費	204	217	851
引当金の増加額(△は減少額)	254	663	169
持分法による投資損失	29	67	15
売上債権の減少額(△は増加額)	△ 185	△ 1,482	△ 3,774
たな卸資産の減少額(△は増加額)	△ 15	△ 100	△ 770
仕入債務の増加額(△は減少額)	△ 685	1,669	3,930
法人税等の支払額	△ 74	△ 283	△ 30
その他	495	157	666
営業活動によるキャッシュ・フロー	492	1,478	2,548
<b>II. 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
貸付金の純減少額(△は純増加額)	55	105	171
有形・無形固定資産の取得による支出	△ 71	△ 146	△ 566
有形・無形固定資産の売却による収入	127	—	171
投資有価証券の取得による支出	△ 1	△ 26	△ 4
投資有価証券の売却による収入	20	—	29
その他	21	△ 0	21
投資活動によるキャッシュ・フロー	151	△ 68	△ 177
<b>III. 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
短期借入金の純増加額(△は純減少額)	△ 555	△ 403	△ 700
長期借入金の借入による収入	1,400	400	4,500
長期借入金の返済による支出	△ 916	△ 805	△ 5,812
預り担保金返済による支出	△ 127	—	△ 122
自己株式の売却による収入	0	—	0
自己株式の取得にによる支出	△ 0	△ 0	△ 0
配当金の支払額	△ 154	△ 230	△ 200
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 354	△ 1,039	△ 2,336
<b>IV. 現金及び現金同等物の増加額</b>	289	370	35
<b>V. 現金及び現金同等物期首残高</b>	629	665	629
<b>VI. 現金及び現金同等物期末残高</b>	919	1,035	665

## セグメント情報

## 1. 事業の種類別セグメント情報

前第1四半期連結会計期間(自平成18年4月1日至平成18年6月30日)(金額単位:百万円未満切捨)

	飼料事業	畜産物事業	計	消去又は全社	連結
売上高及び営業損益					
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	15,521	10,502	26,023	—	26,023
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	26	—	26	(26)	—
計	15,548	10,502	26,050	(26)	26,023
営業費用	14,744	10,432	25,176	237	25,414
営業利益	803	69	873	(264)	609

当第1四半期連結会計期間(自平成19年4月1日至平成19年6月30日)(金額単位:百万円未満切捨)

	飼料事業	畜産物事業	計	消去又は全社	連結
売上高及び営業損益					
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	20,682	10,408	31,090	—	31,090
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	31	—	31	(31)	—
計	20,713	10,408	31,121	(31)	31,090
営業費用	19,762	10,296	30,059	234	30,294
営業利益	950	111	1,061	(265)	796

前連結会計年度(自平成18年4月1日至平成19年3月31日)(金額単位:百万円未満切捨)

	飼料事業	畜産物事業	計	消去又は全社	連結
売上高及び営業損益					
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	68,202	42,856	111,058	—	111,058
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	101	—	101	(101)	—
計	68,303	42,856	111,160	(101)	111,058
営業費用	65,175	42,490	107,666	907	108,574
営業利益	3,127	366	3,493	(1,009)	2,484

(注) 1. 事業区分は、製品・商品の種類及び性質を考慮した売上集計区分によっております。

2. 各事業の主要な製品・商品は下記のとおりであります。

飼料事業…鶏用・牛用・豚用・魚用飼料及びその他飼料等

畜産物事業…鶏卵・鶏肉・牛肉・豚肉・畜肉加工品及び加工卵等

## 2. 所在地別セグメント情報

本邦以外の国又は地域に所在する在外支店及び連結子会社がないため該当事項はありません。

## 3. 海外売上高

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

[訂正後]



## 平成 20 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績概況

平成 19 年 7 月 30 日

上場会社名 協同飼料株式会社

上場取引所 東京証券取引所市場第一部

コード番号 2052

URL <http://www.kyodo-shiryo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村井 弘一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 大友 彰 TEL (045) 461-5711

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成 20 年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 6 月 30 日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20 年 3 月期第 1 四半期	31,090	19.5	796	30.7	817	39.7	276	14.2
19 年 3 月期第 1 四半期	26,023	△ 5.1	609	△ 6.0	585	8.7	242	—
19 年 3 月期	111,058		2,484		2,432		816	

	1 株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
20 年 3 月期第 1 四半期	2 77	—
19 年 3 月期第 1 四半期	2 43	—
19 年 3 月期	8 18	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20 年 3 月期第 1 四半期	50,007	13,061	26.1	130 83
19 年 3 月期第 1 四半期	45,672	13,047	28.6	130 75
19 年 3 月期	48,349	13,028	26.9	130 50

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20 年 3 月期第 1 四半期	1,478	△ 68	△ 1,039	1,035
19 年 3 月期第 1 四半期	492	151	△ 354	919
19 年 3 月期	2,548	△ 177	△ 2,336	665

2. 平成 20 年 3 月期の連結業績予想（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日） 【参考】

平成 19 年 5 月 14 日公表の業績予想の修正はありません。

3. その他

- |   |   |
|---|---|
| (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） | 無 |
| (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無              | 有 |
| (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無            | 有 |

（注）詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 1 四半期（平成 19 年 4～6 月）におけるわが国経済は、設備投資の増加や個人消費と雇用情勢の改善により、景気は引き続き緩やかな回復基調を継続しました。

飼料畜産業界におきましては、配合飼料の主要原料であるとうもろこしが、エタノール向け需要の急増や中国の輸出抑制に加え豪州での早ばつによる小麦の不作などに伴い高値で推移いたしました。

畜産物につきましては、鶏卵は国内生産量の増加から相場は軟調に推移しました。豚肉・牛肉は米国産牛肉の輸入が昨年 7 月に再開されたものの、国内生産の伸び悩みから相場は安定して推移いたしました。

こうした環境にあつて当社グループは、畜産生産者の皆様の生産性に貢献する価値ある製品及び関連技術の開発に注力し、採卵鶏用飼料・肉牛用飼料等を中心に販売数量の拡大を図りました。

その結果、売上高は 310 億 9 千万円（前年同期比 19.5%増）、営業利益は 7 億 9 千 6 百万円（前年同期比 30.7%増）、経常利益は 8 億 1 千 7 百万円（前年同期比 39.7%増）と、それぞれ大幅な増収・増益を計上することが出来ました。また、特別損益として役員退職慰労引当金繰入額 2 億 4 千 8 百万円を計上した結果、当四半期純利益は 2 億 7 千 6 百万円（前年同期比 14.2%増）となりました。

事業別の状況は、以下の通りです。

#### 飼料事業

飼料事業では、販売数量は採卵鶏用・肉牛用等を中心に増加し、本年 4 月に配合飼料製品価格の値上げを行ったことから売上高も増加いたしました。一方で、配合飼料原材料価格の上昇及び配合飼料価格安定基金負担金の増加があつたものの、営業利益は 9 億 5 千万円（前年同期比 18.2%増）と増益を果たすことができました。

#### 畜産物事業

畜産物事業では、売上高は鶏卵を中心に畜産物相場が軟調に推移したことから前年同期並みの数字にとどまりましたが、営業利益は 1 億 1 千 1 百万円（前年同期比 59.3%増）と増益になりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第 1 四半期の財政状況を前期末と比べますと、配合飼料製品価格の値上げにより売上債権が 13 億 8 千 6 百万円増加したこと等により、総資産は 16 億 5 千 7 百万円増加して 500 億 7 百万円 となり、純資産は 3 千 3 百万円増加して 130 億 6 千 1 百万円 となりました。

### (連結キャッシュ・フロー)

当第 1 四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当四半期純利益 5 億 6 千 8 百万円、仕入債務の増加 16 億 6 千 9 百万円等により、売上債権の増加等があったものの、14 億 7 千 8 百万円の収入となりました。

投資活動におけるキャッシュ・フローは、設備投資に伴う固定資産の取得 1 億 4 千 6 百万円等により、6 千 8 百万円の支出となりました。

財務活動におけるキャッシュ・フローは、長短借入金の純返済 8 億 8 百万円、配当金の支払い 2 億 3 千万円等により、10 億 3 千 9 百万円の支出となりました。

これらの結果、現金及び現金同等物期末残高は、10 億 3 千 5 百万円となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループは、畜産生産者の皆様の生産性に貢献するための新製品を積極的に開発し、これまで生産者と築き上げてきた信頼関係と長期的な取引関係を強化して、業容の拡大と収益力の向上を図っており、予想通りの業績を確保するべく努めております。

引き続き国際飼料穀物相場の高値推移と、世界的な海上運賃の上昇等から、本年 7 月に配合飼料製品価格の値上げを実施いたしました。今後の見通しにつきましては、世界的な穀物需給や外国為替相場の動向が不透明であることなど見極めがたい環境となっておりますので、中間期・通期とも業績予想の修正はございません。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループが判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。

## 4. その他

### (1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

- ・法人税等の計算基準…簡便法により計算しております。
- ・引当金の計上基準等に、一部簡便な方法を採用しております。

### (2) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

#### ・役員退職慰労引当金

「租税特別措置法上の準備金及び特別法上の引当金又は準備金並びに役員退職慰労引当金等に関する監査上の取扱い」(日本公認会計士協会 監査・保証実務委員会報告第 42 号)の改正に伴い、当第 1 四半期より、役員退職慰労金の支出に備えるため、内規による期末要支給額に基づき役員退職慰労引当金を計上しております。

これにより、当第 1 四半期の期首に計上すべき過年度分 2 億 4 千 8 百万円については特別損失に、また、当第 1 四半期の発生額 9 百万円は、販売費及び一般管理費に計上しております。



## 要約四半期連結貸借対照表

(金額単位：百万円未満切捨)

科 目	前連結 会計年度末 (19.3.31)	当第1四半期 連結会計期間末 (19.6.30)	増 減	前第1四半期 連結会計期間末 (18.6.30)
(資産の部)				
I 流動資産	25,158	27,144	1,986	20,574
現金及び預金	668	1,038	370	922
受取手形及び売掛金	19,262	20,648	1,386	15,363
たな卸資産	3,764	3,865	100	3,008
繰延税金資産	125	124	△ 0	104
短期貸付金	389	253	△ 135	319
その他	1,067	1,333	266	934
貸倒引当金	△ 117	△ 118	△ 0	△ 77
II 固定資産	<u>23,191</u>	<u>22,863</u>	△ 328	<u>25,098</u>
有形固定資産	8,441	8,409	△ 32	8,622
建物及び構築物	2,354	2,328	△ 26	2,257
機械装置及び運搬具	2,970	2,914	△ 55	3,158
土地	2,958	2,958	—	2,960
建設仮勘定	1	54	52	90
その他	156	153	△ 3	156
無形固定資産	381	376	△ 4	397
その他	381	376	△ 4	397
投資その他の資産	<u>14,368</u>	<u>14,077</u>	△ 291	<u>16,078</u>
投資有価証券	6,079	6,124	45	7,019
長期貸付金	5,066	5,097	30	5,252
長期未収入金	6,674	6,581	△ 93	6,729
破産債権、更生債権 その他これらに準ずる債権	721	657	△ 64	949
繰延税金資産	<u>2,424</u>	<u>2,384</u>	△ 39	<u>2,283</u>
その他	719	774	54	716
貸倒引当金	<u>△7,317</u>	<u>△7,542</u>	△ 224	<u>△6,873</u>
資産合計	<u>48,349</u>	<u>50,007</u>	1,657	<u>45,672</u>

(金額単位：百万円未満切捨)

科 目	前連結 会計年度末 (19.3.31)	当第1四半期 連結会計期間末 (19.6.30)	増 減	前第1四半期 連結会計期間末 (18.6.30)
(負債の部)				
I 流動負債	25,708	26,784	1,075	23,302
支払手形及び買掛金	12,886	14,556	1,669	8,245
短期借入金	8,900	7,803	△1,097	11,216
未払法人税等	314	293	△ 20	201
賞与引当金	368	546	177	564
未払費用	1,362	1,481	119	1,104
その他	1,876	2,103	226	1,969
II 固定負債	9,612	10,161	548	9,322
長期借入金	8,267	8,555	288	7,892
退職給付引当金	1,304	1,306	2	1,388
その他	41	299	257	41
負債合計	35,321	36,946	1,624	32,625
(純資産の部)				
I 株主資本	11,699	11,676	△ 23	11,126
資本金	5,199	5,199	—	5,199
資本剰余金	4,947	4,947	—	4,947
利益剰余金	1,971	1,948	△ 23	1,398
自己株式	△ 419	△ 419	△ 0	△ 418
II 評価・換算差額等	1,321	1,377	56	1,914
その他有価証券評価差額金	1,298	1,349	51	1,868
繰延ヘッジ損益	23	28	5	45
III 少数株主持分	6	7	0	6
純資産合計	13,028	13,061	33	13,047
負債及び純資産合計	48,349	50,007	1,657	45,672

(金額単位：百万円未満切捨)

	前連結会計年度末	当第1四半期	前第1四半期
(注) 1. 受取手形割引高	1,510	1,512	1,345
2. 有形固定資産減価償却累計額	21,394	21,602	21,134
3. 保証債務	2,409	2,326	2,899
4. 債務保証予約	259	251	285
5. 経営指導念書	179	173	190
6. 自己株式数	4,212,546株	4,213,878株	4,210,382株

## 要約四半期連結損益計算書

(金額単位：百万円未満切捨)

科 目	前第1四半期 連結会計期間 (18.4~18.6)	当第1四半期 連結会計期間 (19.4~19.6)	増 減	前連結会計年度 (18.4~19.3)
I 売上高	26,023	31,090	5,066	111,058
II 売上原価	23,188	27,600	4,412	99,176
売上総利益	2,835	3,489	654	11,881
III 販売費及び一般管理費	2,226	2,693	467	9,397
営業利益	609	796	186	2,484
IV 営業外収益	161	229	67	576
受取利息及び配当金	63	67	3	124
その他	97	161	63	452
V 営業外費用	185	207	22	628
支払利息	78	90	12	331
持分法による投資損失	29	67	38	15
その他	78	49	△ 29	281
経常利益	585	817	232	2,432
VI 特別利益	18	—	△ 18	52
固定資産処分益	18	—	△ 18	52
VII 特別損失	135	248	113	993
固定資産処分損	—	—	—	33
役員退職慰労引当繰入額	—	248	248	—
役員退職慰労金	135	—	△ 135	159
貸倒引当金繰入額	—	—	—	800
税金等調整前四半期(当期)純利益	468	568	99	1,491
税金費用	225	291	65	674
少数株主利益	0	0	0	1
四半期(当期)純利益	242	276	34	816

(注) 第1四半期における税金費用については簡便法により計算しているため、「法人税等調整額」は、「税金費用」に含めて表示しております。

## 要約四半期連結株主資本等変動計算書

前第1四半期連結会計期間(自平成18年4月1日至平成18年6月30日) (金額単位:百万円未満切捨)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他の有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計		
平成18年3月31日残高	5,199	4,947	<u>1,355</u>	△ 418	<u>11,084</u>	2,140	—	2,140	5	<u>13,230</u>
当四半期変動額										
剰余金の配当			△ 199		△ 199					△ 199
四半期純利益			242		242					242
自己株式の取得				△ 0	△ 0					△ 0
自己株式の処分		0		0	0					0
株主資本以外の項目の当四半期変動額						△ 272	45	△ 226	0	△ 225
当四半期変動額合計	—	0	42	△ 0	42	△ 272	45	△ 226	0	△ 183
平成18年6月30日残高	5,199	4,947	<u>1,398</u>	△ 418	<u>11,126</u>	1,868	45	1,914	6	<u>13,047</u>

当第1四半期連結会計期間(自平成19年4月1日至平成19年6月30日) (金額単位:百万円未満切捨)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他の有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計		
平成19年3月31日残高	5,199	4,947	<u>1,971</u>	△ 419	<u>11,699</u>	1,298	23	1,321	6	<u>13,028</u>
当四半期変動額										
剰余金の配当			△ 299		△ 299					△ 299
四半期純利益			276		276					276
自己株式の取得				△ 0	△ 0					△ 0
自己株式の処分										
株主資本以外の項目の当四半期変動額						51	5	56	0	56
当四半期変動額合計	—	—	△ 23	△ 0	△ 23	51	5	56	0	33
平成19年6月30日残高	5,199	4,947	<u>1,948</u>	△ 419	<u>11,676</u>	1,349	28	1,377	7	<u>13,061</u>

前連結会計期間 (自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 3 月 31 日)

(金額単位：百万円未満切捨)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等 合計		
平成 18 年 3 月 31 日残高	5,199	4,947	<u>1,355</u>	△ 418	<u>11,084</u>	2,140	—	2,140	5	<u>13,230</u>
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△ 199		△ 199					△ 199
当期純利益			816		816					816
自己株式の取得				△ 0	△ 0					△ 0
自己株式の処分		0		0	0					0
株主資本以外の項目の 当期中の変動額(純額)						△ 842	23	△ 819	1	△ 818
連結会計年度中の変動額合計	—	0	616	△ 0	615	△ 842	23	△ 819	1	△ 202
平成 19 年 3 月 31 日残高	5,199	4,947	<u>1,971</u>	△ 419	<u>11,699</u>	1,298	23	1,321	6	<u>13,028</u>

## 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(金額単位：百万円未満切捨)

区 分	前第 1 四半期 連結会計期間 (18.4~18.6)	当第 1 四半期 連結会計期間 (19.4~19.6)	前連結会計年度 (18.4~19.3)
<b>I. 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
税金等調整前四半期(当期)純利益	468	568	1,491
減価償却費	204	217	851
引当金の増加額(△は減少額)	254	663	169
持分法による投資損失	29	67	15
売上債権の減少額(△は増加額)	△ 185	△ 1,482	△ 3,774
たな卸資産の減少額(△は増加額)	△ 15	△ 100	△ 770
仕入債務の増加額(△は減少額)	△ 685	1,669	3,930
法人税等の支払額	△ 74	△ 283	△ 30
その他	495	157	666
営業活動によるキャッシュ・フロー	492	1,478	2,548
<b>II. 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
貸付金の純減少額(△は純増加額)	55	105	171
有形・無形固定資産の取得による支出	△ 71	△ 146	△ 566
有形・無形固定資産の売却による収入	127	—	171
投資有価証券の取得による支出	△ 1	△ 26	△ 4
投資有価証券の売却による収入	20	—	29
その他	21	△ 0	21
投資活動によるキャッシュ・フロー	151	△ 68	△ 177
<b>III. 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
短期借入金の純増加額(△は純減少額)	△ 555	△ 403	△ 700
長期借入金の借入による収入	1,400	400	4,500
長期借入金の返済による支出	△ 916	△ 805	△ 5,812
預り担保金返済による支出	△ 127	—	△ 122
自己株式の売却による収入	0	—	0
自己株式の取得にによる支出	△ 0	△ 0	△ 0
配当金の支払額	△ 154	△ 230	△ 200
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 354	△ 1,039	△ 2,336
<b>IV. 現金及び現金同等物の増加額</b>	289	370	35
<b>V. 現金及び現金同等物期首残高</b>	629	665	629
<b>VI. 現金及び現金同等物期末残高</b>	919	1,035	665

## セグメント情報

## 1. 事業の種類別セグメント情報

前第1四半期連結会計期間(自平成18年4月1日至平成18年6月30日)(金額単位:百万円未満切捨)

	飼料事業	畜産物事業	計	消去又は全社	連結
売上高及び営業損益					
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	15,521	10,502	26,023	—	26,023
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	26	—	26	(26)	—
計	15,548	10,502	26,050	(26)	26,023
営業費用	14,744	10,432	25,176	237	25,414
営業利益	803	69	873	(264)	609

当第1四半期連結会計期間(自平成19年4月1日至平成19年6月30日)(金額単位:百万円未満切捨)

	飼料事業	畜産物事業	計	消去又は全社	連結
売上高及び営業損益					
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	20,682	10,408	31,090	—	31,090
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	31	—	31	(31)	—
計	20,713	10,408	31,121	(31)	31,090
営業費用	19,762	10,296	30,059	234	30,294
営業利益	950	111	1,061	(265)	796

前連結会計年度(自平成18年4月1日至平成19年3月31日)(金額単位:百万円未満切捨)

	飼料事業	畜産物事業	計	消去又は全社	連結
売上高及び営業損益					
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	68,202	42,856	111,058	—	111,058
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	101	—	101	(101)	—
計	68,303	42,856	111,160	(101)	111,058
営業費用	65,175	42,490	107,666	907	108,574
営業利益	3,127	366	3,493	(1,009)	2,484

(注) 1. 事業区分は、製品・商品の種類及び性質を考慮した売上集計区分によっております。

2. 各事業の主要な製品・商品は下記のとおりであります。

飼料事業…鶏用・牛用・豚用・魚用飼料及びその他飼料等

畜産物事業…鶏卵・鶏肉・牛肉・豚肉・畜肉加工品及び加工卵等

## 2. 所在地別セグメント情報

本邦以外の国又は地域に所在する在外支店及び連結子会社がないため該当事項はありません。

## 3. 海外売上高

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。